

“学び合い”を生かすヒット授業案づくり

(数学) 科のヒット授業案

教科名 数学

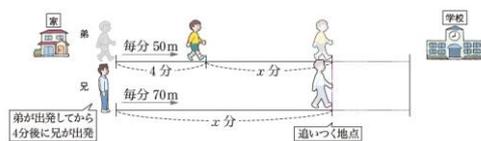
単元・題材名 3章 方程式, 2節 1次方程式の利用

授業のねらい・目標

- ・速さ・時間・道のりに関する問題を、方程式を利用して解決することができる。
- ・また、求めた解が、問題に適しているかどうかを考え、説明することができる。

(大まかな流れ)

1. 教科書の例題をする。速さの問題を解くときに、表や図を活用することを説明する。



	弟	兄
速さ (m/min)	50	70
時間 (分)		x
道のり (m)		

2. 班になり練習問題を解く。問題の中に、求めた解をそのまま答えにできない問題があるので、班の中で説明をしたあとクラス内で発表する。

Q3

Q2で、家から駅までの道のりが800mであるとき、求めた時刻を、そのまま答えとしてよいだろうか。また、その理由を説明しなさい。

3. 発展問題をする。問題文に書かれていない情報を見つけなければならない問題を、班になり解いていく。

ある人が1800m離れた駅へ行くのに、一定の速さで歩き出した。30分かけて駅に着く予定であったが、途中で速さを変え、毎分90mの速さで歩いたので、予定より6分早く駅に着いた。この人が毎分90mの速さで歩いた道のりを求めなさい。

この授業の見どころ (学び合いをどう生かすかなど)

- ・班で練習問題を解く中で、説明する問題を、学び合いながら確かめ合う。
- ・発展問題なので、自分で考えても見つからない情報を、周りに説明していく活動ができる。

授業を担当する人

山本 真澄